

テーマ: 『 命が生まれる蓑島の海を守ろう 』

行橋市立 蓑島小学校

Tel. 09302-22-1044 担当者: 田中 弥生



■実践内容:

蓑島小学校では、4年生(17人)・5年生(6人)が理科や総合的な学習の時間を使い、蓑島の海がなぜ豊かなのか、その理由を生息するプランクトンや水質調査などから考える活動に取り組みました。実践した主な内容は、港、河口近く、海苔種付け場付近、カキ養殖場付近の4か所へ船で出かけていき、透明度を計ったり、プランクトンを採集したりしました。(夏の海と冬の海の2回実施)5年生は、地域の産業のカキの養殖について、カキの種付けからカキ打ちまで実際に体験させてもらい、活動で学んだことを新聞にまとめ、校区・地域に発信しました。

■実践成果:

地域と共に生きる子ども達にとって、これらの活動を通し、蓑島の海の豊かさを支える理由を知ったことは、故郷の海を自慢に思う心を育てることにつながり、海を守ろうとする実践(クリーン作戦・全校で取り組む舟べりたたき)につながっていくことができました。カキがたくさんのプランクトンを食べて育ち、海をきれいにする力があることを理解したことで、カキを地域にアピールしようとする意欲も高まり、「カキ新聞」づくりへとつながり、地域の産業に貢献することもできました。また、顕微鏡観察では海で採集してきた活きた美しいプランクトンを観察することができ、プランクトン図鑑でその名前が分かった時は、歓声上がるなど生き生きと活動ができました。

■実践ポイント:

子ども達の意識や関心を高めるために、地域の海の豊かさを科学的に理解させることを重視して取り組みました。